

令和4年度

# 函館・大沼・噴火湾ルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫	報告年月日: 2023/3/31
---------------------	-----------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R4					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	協働型道路マネジメント会議による現地診断の実施	函館地域協働型道路マネジメント会議	令和4年9月29日～9月30日	31名	A - 3	今後、景観に関する勉強会等を開催し、ルート内の景観阻害の改善に向けた取り組みにつなげていきたい。	
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-	-		
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォト倶楽部の設立	-	-	-	-	-	令和4年度は、新たにビューポイントとして灯台の利活用に係る現地調査や意見交換等を行った。今後はさらなる利活用にに向けた検討を継続していきたい。	
		H17シーニックバスツアーの開催	-	-	-	-	-		
		シーニックルートマップの作成	-	-	-	-	-		
		フォトコンテストの開催	-	-	-	-	-		
		灯台の利活用に関する勉強会の開催	地域資源の利活用に関する検討: 現地視察及び意見交換会	函館・大沼・噴火湾ルート代表者会議	令和4年11月15日	10名	A - 5		
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート	函館・大沼・噴火湾ルート	令和4年4月29日	令和4年度は新型コロナウイルス対策を行いながら3箇所を実施した。	A - 1	協働型道路マネジメント会議等の機会を活用して、ルート内のビューポイント周辺等における景観向上及びおもてなし活動として、シーニック清掃活動やお花の植栽活動を実施した。シーニック清掃活動は、コロナ禍においても活動を継続実施することができ、次年度以降も拡大を視野に検討取り組みを進めていきたい。また、お花の植栽活動実施箇所における景観向上に向けた取り組みについても検討を行っていきたい。
			大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会等	七飯町建設協会 協力: (一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会	令和4年4月	関係者のみで実施	-	
			道道大沼公園線清掃	七飯町建設協会 協力: (一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会	七飯町建設協会 協力: (一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会	令和4年9月	関係者のみで実施	-	
			大船遺跡清掃活動	北の縄文CLUB	北の縄文CLUB	令和4年4月29日	関係者のみで実施	-	
		植栽活動の実施	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	函館花いっぱい道づくりの会	令和4年6月～10月	約600名	A - 2	
			湯の川温泉街花いっぱいロード	函館湯の川温泉旅館協同組合	函館湯の川温泉旅館協同組合	令和4年5月～10月	関係者のみで実施	-	
			さわらフラワーロード	森町花いっぱい運動推進協議会	森町花いっぱい運動推進協議会	令和4年5月～10月	関係者のみで実施	-	
			八雲フラワーロード	八雲商工会女性部ほか 協力: (一社)八雲観光物産協会	八雲商工会女性部ほか 協力: (一社)八雲観光物産協会	令和4年5月～10月	関係者のみで実施	-	
			サルビア植栽	七飯町商工会	七飯町商工会	令和4年6月～10月	関係者のみで実施	-	
		景観阻害の改善	-	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫					報告年月日: 2023/3/31	
		R4						
地域	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	-	-	-	-	-	自然環境教育プログラムの提供として、北斗市の広報誌を活用し、一般参加者を募り、シーニックの森づくり事業～スキヤリ～を実施した。次年度以降も引き続き、広報誌を活用した参加者確保を図るとともに、既存イベント(きじひき高原まつり)を活用したPR・参加者確保を行っていききたい。
		横津岳ガイドツアーの開催	-	-	-	-	-	
		八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	-	-	-	-	-	
		自然環境教育プログラムの提供	シーニックの森づくり事業～スキヤリとツル剪定～	函館・大沼・噴火湾ルート 協力: NGO函館自然観察会	令和4年10月16日	20名 主催者及び関係者のみで実施	A - 4	
		その他	恵山高原ガイドツアー	NGO函館自然観察会	令和4年5月	関係者のみで実施	-	
			第18回赤松こも巻き体験会	赤松街道を愛する会 協力: NPO法人エコロジッククラブ	令和4年10月	関係者のみで実施	-	
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-	-	-	ガイドの発掘・育成については、次年度以降検討を行っていききたい。
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	-	-	-	-	-	
	地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	キャンドル製作体験会in五稜郭タワー	シーニックdeナイト実行委員会	令和5年1月(予定)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-	シーニックdeナイトで使用するワックスキャンドルの製作体験会を町内会や保育園等にて実施した。次年度以降も、製作体験会のイベント等を活用し、地域と来訪者の心をつなぐ取組を継続していききたい。
			キャンドル製作体験会in石川町会館	石川町会 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	令和5年1月	関係者のみで実施	-	
キャンドル製作体験会inシエスタハコダテ			シエスタハコダテ 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	令和4年12月～令和5年1月	関係者のみで実施	-		
光の街の手工芸家達の作品展15			函館手工芸の会	令和4年10月	関係者のみで実施	-		
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート メーリングリストによる情報発信	函館・大沼・噴火湾ルート	令和4年度	-	-	函館・大沼・噴火湾ルートメーリングリストによる、地域情報等の共有や勉強会、実行委員会等を開催した。次年度以降も、メーリングリストによる情報共有など、内部的な関心の共有、意識醸成を図っていききたい。	
		函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルート	令和4年度	-	-		
		第1回シーニックdeナイト2023実行委員会	シーニックdeナイト実行委員会	令和4年度	書面開催	-		
地域	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-	札幌駅前通地下歩行空間等にて、タペストリーの展示や物販等によるルートのPRを実施。次年度以降も、積極的にルートのPRを行っていききたい。	
		FMいるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-		
		FMいるかの特別番組「8月10日「道の日」による情報発信」	-	-	-	-		
地域	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	-	-	-	-	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発・販売を今後行っていききたい。	
		地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫	報告年月日: 2023/3/31
---------------------	-----------------------------	------------------

		R4							
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	-	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催	-	-	-	-	-		
		「鹿部町間歇泉とホタテの耳吊り体験ツアー」	-	-	-	-	-		
		縄文文化を体験	はこだて縄文まつり in 垣ノ島2022	函館市縄文文化交流センター 協力: (一財)道南歴史文化振興財団	令和4年10月2日	300名		縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	縄文文化を体験	縄文のアクセサリーづくり	北の縄文CLUB	令和4年度	令和4年度は新型コロナウイルス対策を行いながら回付1回実施した。	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
		縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	-	-	-	-	-	平成18年度から継続しているシーニックdeナイトを実施した。今年度は、全自治体で実施し、キャンドル製作体験会など次世代を担う子供たちなど、より地域も巻き込んだ取り組みとして実施することができた。次年度以降も地域の拡大等団体相互の連携強化を図り、さらなる観光客の獲得を目指し、ツアーの造成等の検討、PRの充実を図っていききたい。	
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	-	-	-	
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	-	-	-	
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	シーニックdeナイト2023	シーニックdeナイト実行委員会	令和5年2月	約500名	A - 6		
	歴史を学び活かす	場所を変えた観光分科会の開催	-	-	-	-	-	-	
		「函館の歴史を学ぶ」講座	-	-	-	-	-	-	縄文以外の歴史資源を活かした勉強会などを通して、今後函館の歴史を学べるような機会の創出を図っていききたい。
「函館の港を船上から学ぶ」講座		-	-	-	-	-	-		

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃・植栽活動

【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を『シー(4)ニック(29)の日』と位置づけ、桜の季節に合わせて、観光客の皆様にはおもてなしの気持ちを込めて、地域住民の方へはきれいな景観づくりを目指し、管内3か所の観光地や沿道の清掃活動や植栽活動を行っている。令和4年度は新型コロナウイルス対策を行いながら、3箇所を実施した。

【日時】令和4年4月29日（シーニックの日）

【場所】五稜郭タワー周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺、  
函館市縄文文化交流センター周辺

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】100名



▲五稜郭公園及び五稜郭タワー周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺



# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：第19回 国道5号函館新道花いっぱい活動 2022

【概要】 函館の玄関口である国道5号函館新道インターチェンジ付近。函館新道（国道5号）の開通をきっかけとして始まった植栽活動を行う取組。札幌方面から函館新道を利用して函館に入る時の玄関口となるため、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと、おもてなしの気持ちを込めて実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策について十分留意しながら、地元の小中高生等が参加する全体での植栽活動を再開することにつながった。今回は、スペシャルゲストとして、北海道日本ハムファイターズの公式マスコットB・Bくんが応援に駆けつけてくれました。

【日時】 【花植え活動】 令和4年6月11日（土） / 【撤去活動】 令和4年10月23日（日）

【場所】 国道5号函館新道インターチェンジ付近

【主催】 函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】 約600名（花植え活動） / 約600名（撤去活動）



▲花植え活動 募集チラシ



▲花植え活動(6/11)の様子



▲撤去活動(10/23)の様子

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：現地診断の実施～

- 【概要】 地域資源の再発掘や課題、対応策の検討等を目的として、現地診断を実施した。参加者には新たな課題や対応策案等を記入するための診断シートを配布し、意見や感想等を記入してもらい、後日回収した。
- 【日時】 令和4年9月29日（木）～9月30日（金） 2日間
- 【場所】 啄木小公園、汐首駐車場、トーパスヴィレッジムーイ、日浦洞門、道南金剛、道の駅なとわえさん、恵山海浜公園、恵山温泉、海峡展望台、恵山、恵山岬灯台、灯台公園、灯台資料館、銚子サーフビーチ、道の駅縄文ロマン南かやべ、垣ノ島遺跡、大船遺跡、三味線滝、道の駅しかべ間歌泉公園、鹿部温泉、鹿部公園、ハマナス台場公園、道の駅つど～るプラザさわら、さわらフラワーロード、駒ヶ岳良景観スポット《25箇所》
- 【主催】 一般国道278号協働型道路マネジメント会議
- 【参加人数】 31名（マネジメント会議委員長・委員、オザバー、自治体、函建、dec）



▲ 現地診断の様子 活火山 恵山



▲ 現地診断の様子 ハマナス台場公園

現地診断の意見要約のまとめ①		
	現状課題に対する感想・意見	今後の取組み・対策案
①啄木小公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が狭い。</li> <li>・一方通行の構造がわかりづらい。逆走の可能性がある。</li> <li>・駐車スペース、走行車線、歩行者帯が混在し、少々危険。</li> <li>・ロケーションが良く、観光の視点では有利な場所。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の拡大。</li> <li>・啄木小公園を削小、公園の縮小部分を、駐車場に変更。</li> <li>・バスの駐車スペースを整備。</li> <li>・案内看板の設置。</li> <li>・駐車場の逆走防止看板設置。入り口を明確に示す看板設置。</li> <li>・海岸整備と連携した、観水性の高い公園（駐車場）整備。</li> <li>・駐車スペース、走行車線、歩行者帯の区分け。</li> </ul>
②汐首駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が狭い。特に恵山から函館に向かう方向。</li> <li>・入り口が狭い。</li> <li>・ガードレールは必要か。</li> <li>・山崩れ等の危険。</li> <li>・車の景観が素晴らしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の拡大。</li> <li>・出入口の拡大。（ガードレールの撤去など）</li> <li>・周辺一帯の一体的観光資源化（汐首岬、鶴森岬、旧戸井第一手根、山崎田等）。</li> <li>・景観展望台の設置。</li> </ul>
③トーパスヴィレッジムーイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道からの入り口がわかりにくい。</li> <li>・案内をわかりやすくするべき。</li> <li>・施設のPRが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい看板灯、PR看板を設置。</li> <li>・サインル受け入れ施設の整備。</li> <li>・宿泊施設（ユース）のアピール。</li> <li>・宿泊施設の安全点検の実施。</li> <li>・艇に関するイベントの実施。</li> </ul>
④日浦洞門 ⑤道南金剛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観が素晴らしく、魅力を再認識。アピールが必要。</li> <li>・知名度があり、ガイドの設置があると良い。</li> <li>・道路幅が狭く、注意喚起が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧道への誘導看板の設置。利用促進の周知。</li> <li>・駐車場、駐輪場の整備。</li> <li>・危険地帯への立ち入り禁止措置。</li> </ul>
⑥道の駅なとわえさん ⑦恵山海浜公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観が素晴らしく、魅力を再認識。</li> <li>・青森、名古屋、神戸ナンバー等、遠方から車で来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅とキャンプ場の連携。</li> <li>・砂浜を観光資源としてアピール。</li> <li>・道の駅周辺周辺道路の車の知取り幅を広げ、道路からの景観を確保。</li> <li>・シーニックデッキとして活用。</li> <li>・イベントの強化。</li> <li>・キャンプ場利用の整備。</li> <li>・空きスペースの活用。</li> <li>・路線の道の駅の連携強化。</li> </ul>
⑧恵山温泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サインルートとしての資源になり得る。</li> <li>・民間施設との、協働の検討が必要でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉を言いたる種的なPR。</li> <li>・野鳥観察所としてPR。遊歩整備。</li> <li>・道の駅、つつじ公園からの誘導。</li> <li>・火山をつなぐ観光ルートの検討。</li> </ul>

▲ 現地診断の意見要約のまとめ

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業～ススキ刈りとツル剪定～

【概要】平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO<sub>2</sub>削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りを主に行っており、今年度は、「広報ほくと」を活用した参加者の獲得を行った。なお、令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染状況に配慮し、地元のボランティアの募集は中止し、関係者のみによりススキ刈り等を実施した。

【日時】令和4年10月16日（日）

【場所】きじひき森林公園の森

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】20名（主催者及び関係者のみで実施）



▲開会式の様子



▲下草刈りの様子



▲下草刈り後の集合写真



# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：石田先生をお招きした現地視察及び意見交換会～

- 【概要】 函館・大沼・噴火湾ルートにおける、①コロナ禍におけるルートの取組状況、現状・課題、②課題を踏まえた今後の函館・大沼・噴火湾ルートの将来像等について、筑波大学 特命教授・名誉教授である石田東生氏をお招きし、関係者間で現地視察及び意見交換会を行った。
- 【日時】 令和4年11月15日（火） 11:30～17:30
- 【場所】 恵山岬・恵山岬灯台 周辺及び函館市内
- 【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】 約10名（シーニック関係者・函館開建・dec）
- 【内容】 ①現地視察（汐首岬、日浦洞門、道の駅「なとわ・えさん」、恵山岬灯台公園）  
②意見交換会（コロナ禍における取組状況、現状と課題、ルートの将来像等）



▲ 現地視察：汐首駐車場



▲ 現地視察：日浦洞門



▲ 現地視察：恵山岬灯台



▲ 現地視察：汐首駐車場



▲ 現地視察：道の駅なとわ・えさん



▲ 意見交換会の様子

# 函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2023

- 【概要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを設置する取組。今年度は、計6箇所（その他の予定箇所は、コロナウィルスの影響により中止）で実施した。また、各会場では、手作りのワックスキャンドルで、シーニックのロゴマークにもなっているハート形を演出した。今後は、さらなる実施地域の拡大とツアー造成等による観光客の獲得を目指す。
- 【日時】2023年2月4日(土),11日(日),12日(日),18日(土),25日(土)
- 【場所】五稜郭公園、シエスタ前～行啓通り、函館新道、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、函館七飯スノーパーク（七飯町）
- 【主催】シーニックdeナイト実行委員会／函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】約500名



▲リーフレット



▲函館新道（函館市）

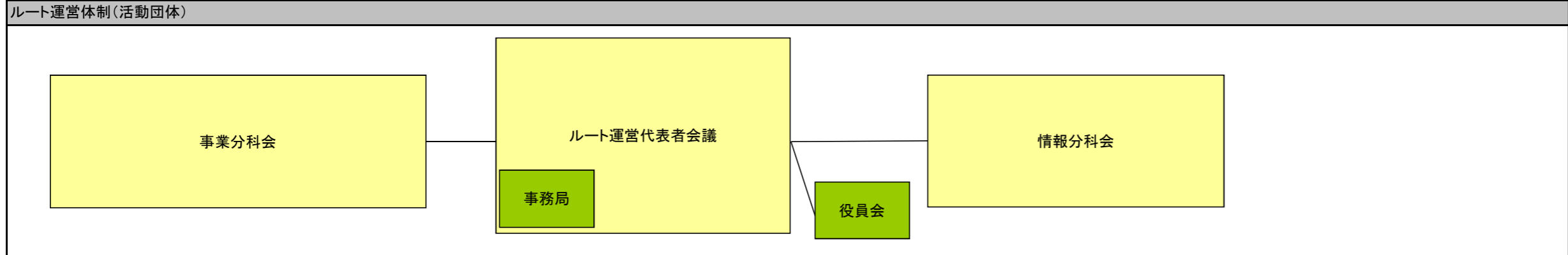


▲函館市縄文文化交流センター（函館市）

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 佐々木 哲夫	報告年月: 2023/3/31
---------------------	-----------------------------	-----------------

**活動団体**  
 函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館商工会議所青年部、函館21の会、函館湯の川温泉旅館協同組合青年部、NGO函館自然観察会、NPO法人スプリングボードユニティ21、北の縄文CLUB、(一財)道南歴史文化振興財団、NPO法人どうなん「学び」サポートセンター、NPO法人函館エコロジークラブ、活力ユニット、函館すぶれっと、はこだて菜の花プロジェクト、ふしぎな花倶楽部、函館花いっぱい道づくりの会、函館手工芸の会、(一財)北海道国際交流センター、NPO法人NPOサポートはこだて、戸井コミュニティビジネス研究会、(一社)北斗市観光協会、七飯町商工会、(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、鹿部温泉観光協会、森町観光ボランティアガイドの会、森町花いっぱい運動推進協議会、森観光協会、(一社)八雲観光物産協会、五稜郭タワー、湯の浜ホテル、任意団体トライセクション



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議		● 4月29日 シーニックの日 清掃活動					● 9月29日-30日 協働型道路マ ネジメント会 議・現地視察		● 11月8-9日 (道央道南ブ ロック会議) 松前 ● 11月15日 石田先生をお 招きした現地 視察及び意見					
役員会				コロナ禍のため未開催										
はこだて花かいどう2022		← 事務打合せ →		● 6月11日 花植え活動	維持管理活動(草取り・水やり等)毎月1回			● 10月23日 花の撤去活動						
シーニックdeナイト2023									← 事務打合せ →	地域内調整		● 令和5年2月4日 (土).11日 (土).12日 (土).18日 (土).25日(土) 実施		

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2023/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営行政連絡会議							● 9月29日-30日 協働型道路マ ネジメント会 議・現地視察							

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2023/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和4年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観	美しい景観とは何かについて考える	—	—	—	—	国道278号_協働型マネジメント会議等の機会を活用し、ルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な後方支援を行うことが出来た。	—	
	ビューポイントを発掘する	国道278号_協働型マネジメント会議	令和4年9月29-30日	函館開発建設部	令和4年9月29日(木)~9月30日(金)に国道278号_協働型マネジメント会議及び現地診断を実施した。参加者には新たな課題や対応策案等を記入するための診断シートを配布し、意見や感想等を記入してもらい、後日回収した。		—	
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	シーニック清掃活動	令和4年4月29日	函館開発建設部、函館市		令和4年度は新型コロナウイルス対策を行いながら3箇所を実施した。	A-1
		大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	令和4年4月	渡島総合振興局、七飯町		一般参加募集をせず、関係者のみで清掃活動を実施した。	—
		はこだて花かいどう2022	はこだて花かいどう2022	令和4年6月~10月	函館開発建設部、函館市		6月から10月末にかけて、国道5号「はこだて花かいどう」における植栽や全体維持活動、撤去等に係る活動の支援を行った。	A-2
		湯の川温泉街花いっぱいロード	湯の川温泉街花いっぱいロード	令和4年5月~10月	函館開発建設部		一般参加募集をせず、関係者のみで植栽活動を実施した。	—
		さわらフラワーロード	さわらフラワーロード	令和4年5月~10月	函館開発建設部、森町		一般参加募集をせず、関係者のみで植栽活動を実施した。	—
		八雲フラワーロード	八雲フラワーロード	令和4年5月~10月	函館開発建設部		一般参加募集をせず、関係者のみで植栽活動を実施した。	—
		サルビア植栽	サルビア植栽	令和4年6月~10月	函館開発建設部、七飯町		一般参加募集をせず、関係者のみで植栽活動を実施した。	—

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和4年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	自然を守りながらうまく活用していく	シーニックの森づくり事業 ～ススキ刈りとツル剪定～	令和4年10月16日	函館開発建設部、北斗市	シーニックの森づくり事業 ～ススキ刈りとツル剪定～活動に参加した。	コロナ禍の状況を鑑みつつ、実施可能な取組については継続展開するなど、工夫を凝らして活動実施に向けた支援を行った。	A-3
		第18回赤松こも巻き体験会	令和4年10月	函館開発建設部、七飯町	一般参加募集をせず、関係者のみで実施した。		—
	ガイドの発掘・育成	—	—	—	—		—
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作会	令和4年12月-令和5年1月	函館開発建設部	シーニックdeナイト2023の開催に向け、ルート事務局とともに定期的にワックスキャンドルの制作を行った。		—
キャンドル製作体験会in石川町会館		令和4年12月	函館開発建設部	関係者及び参加者を限定して実施した。	—		
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	国道278号_協働型マネジメント会議	令和4年9月29-30日	函館開発建設部	令和4年9月29日(木)～9月30日(金)に国道278号_協働型マネジメント会議及び現地診断を実施した。参加者には新たな課題や対応策案等を記入するための診断シートを配布し、意見や感想等を記入してもらい、後日回収した。	○2日間で25箇所での現地診断はタイトなスケジュールとなったが、参加者の協力体制のもと実施計画通りの進行で実施することができた。 ○各委員の所属する自治体から診断箇所の現状や課題等について分かりやすい説明があり、各診断箇所において非常に効果的な診断となった。	—
	地域メディアとのタイアップ	—	—	—	—		—
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	—	—	—	—		—
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	函館・大沼・噴火湾ルート勉強会「石田先生をお招きした現地視察及び意見交換会」	令和4年11月15日	函館開発建設部	函館・大沼・噴火湾ルートにおける、①コロナ禍におけるルートの取組状況、現状・課題、②課題を踏まえた今後の函館・大沼・噴火湾ルートの将来像等について、筑波大学 特命教授・名誉教授である石田東生氏をお招きし、関係者間で現地視察及び意見交換会を行った。	コロナ禍の状況を鑑みつつ、協働型道路マネジメント会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものへの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていきたい。	—
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	シーニックdeナイト2023	令和5年2月4日(土),11日(土),12日(土),18日(土),25日(土)	函館開発建設部、函館市、七飯町	シーニックdeナイト2023の各種活動支援を行った。また、HPIによる情報発信を行うとともに、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		A-4
	歴史を学び活かす	—	—	—	—		—